## 「おまだのみや幼児園」を展習化へ、

#### これでいいの?コストのはなし

①運営コスト(平成26年度決算ベース)

運営費の公私格差は、なんと約3倍! (単位:円)

	1 園あたり	1人あたり	1人あたり
	市負担額	年額	月額
公立	84,035,800	677,860	56,488
私立	26,531,128	202,743	16,895

民営化すればお金が安くなるというけれど、 どうしてこんなに私立の運営費が安いのでしょうか?

#### 私立の運営費が低い主な理由は・・・

- I. 私立保育園は、運営費として国から下される補助金 (公定価格)が非常に低く抑えられているなか、大幅に 人件費が低くなっていること。
- Ⅱ. 私立保育園は、公立幼児園に比べ障がい児童の受け入れ人数が少ないことから、加配職員数も少ないこと。
- Ⅲ. 給食の運営が、直営ではなく委託での運営になっていること。(私立保育園 7 園中 4 園)
- Ⅳ. 看護師の配置が難しいこと。(7園中2園のみ配置)

このように私立園の運営が厳しいなか、民営化して、公立の保育の水準が保てるのでしょうか?

#### 交野市の考えは

I. 他市では、独自の補助金制度を設けて保育士の処遇 改善をすすめている事例も出てきていますが、交野市は 独自策がなく国の動向を注視する姿勢です。

**ⅡとⅢとⅣ**. 民営化の実施方法として、**【公私連携型】** をすすめていくため、事業者との<u>協定</u>を結ぶことで公立の水準を保つとしています。

#### 民営化の実施方法『公私連携』って何?

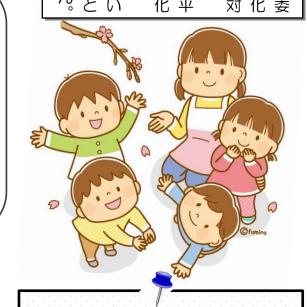
民営化しても、保育内容や水準について「協定」を結ぶことで、 民営化後の保育内容に市が関与できる制度と言われています。

#### 問題点はどこ?

協定には有効期限があります。協定で看護師の配置や、 給食の自園調理を決めても、期限が切れれば市は民間の 運営に関与できません。

協定期間終了後、公立の水準が保たれる保証はありません。」

に、多くの保護者や市民は納得していません。 は、多くの保護者や市民は納得していません。 は、31年から移行保育、平成32年に完全民営化成31年から移行保育、平成32年に完全民営化成31年から移行保育、平成32年に民営化の運営法人を決定し、平本の30年に民営化の運営法人を決定し、平本の30年に民営化の運営法人を決定し、平本の30年に民営化の運営法人を決定し、平本の30年に民営化の運営法人を決定し、平本の30年に民営化の運営法人を決定し、平本の30年に関係を表していません。



#### ②整備コスト 公立は全額市負担?

交野市は老朽化がすすむ園舎の建て替えを考えています。「公立だと建て替え費用は全額市負担となるが、私立だと国負担が 2/4・市 1/4・法人 1/4となるため市のコスト削減ができる」と説明してきました。

#### 裏事情は

実際は、公立で立て替える場合でも、整備費用の1/2を地方債の対象にすれば、その元利償還金を事業費補正によって70%、単位費用により30%、合わせて100%が国から地方交付税措置がされます。

(市は、3月議会での日本共産党の 指摘を受け、資料に注釈を加えるとし ています。)

# かたの民報

### 議会版

2017年3月19日 NO. 1658 【発行】

日本共産党市会議員団

ご相談は市役所議員団控室へ



中上 さち子 倉治 6-17-13 **2 893-6785** 



さらがい ふみ 星田 7-44-21 **2894-2835** 



藤田 まり 私部西 2-16-13-310 **397-3027**